



ROTARY INTERNATIONAL GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 360

KYOJI HARA

C/O IIDA SHOKO-KAIKAN
TOKIYAMACHI, IIDA, NAGANO, JAPAN

№ 2 (JULY 15, 1973)

昭和 48 年 7 月 15 日

第360地区 各ロータリークラブ

国際ロータリー第360地区ガバナー

会長並びに幹事殿

原 享 二

A Time for Action!

今こそ行動のとき

ウィリアム C. (Bill) カーター

公 式 訪 問 に 際 し て

ガバナーとしての任期中、最も大切な仕事の一つとして地区内のすべてのクラブに入念な公式訪問をするという極めて心身共に荷の重い仕事に取り組むことになりました。

そこで訪問日の予定表を作るのに、さて何処のクラブから始めようかと考えているうちに、豊橋クラブから7月の早い時期に来ないかと連絡があったので、7月12日の例会日では早過ぎはしないかと問い合わせた所、準備万端OKという返事。思うに17年前、当時交通事情の不便を克服して屢々訪れていただき、伊那谷の小都飯田にロータリーを分ち与えて下さった豊橋クラブの誠にありがたい親心と感謝し、訪問第1号がきまった次第です。

私は公式訪問を次の様に考えております。先づ第一に、クラブ会長幹事さんをはじめみなさんに同じロータリアンとして、また助言者として訪れたのだということ。

第二に、訪問時のクラブ協議会は決して特別なものでなく年度中当然開かれる数回のクラブ協議会の一つで、その主目的は年度計画を討議することであり、会長さんと一緒になってその役目を果たす為に何らかの助言が出来れば幸いだと思っています。

新会員は協議会に参加して下さいように、又新クラブでは全員参加が望ましいと思います。

公式訪問の日程表は、例会日の関係上当方で

勝手に作り御手許に届けてありますが、どうしても都合の悪い日がありましたら早い時期に変更のお申し出をお願いします。

終りに、事務上のことで恐縮ですが「クラブ計画及び目標の要約」2部と委員会報告書を訪問10日前迄に当事務所宛御送付願います。

なお、新しい充填未充填職業分類表と会員の年代別の表(例参照)を報告書中に御記載願えれば幸甚です。

お目にかかれる日を楽しみにしております。

公式訪問時のプログラムは次の通りです。

会長幹事懇談会 1 1.00～1.20
例会出席(卓話) 1 2.30～1.33
クラブ協議会 1 4.00～1.60

【例】

会員の年代別表(5年毎)

34才以下	1名	1.06%
35～39	6	6.38
40～44	20	21.28
45～49	12	12.77
50～54	8	8.51
55～59	11	11.70
60～64	12	12.77
65～69	17	18.08
70～74	5	5.32
75～79	2	2.13
計	94名	100.00%

分区代理ご紹介



伊藤 長一

名古屋西 R. C.
シニアアクティブ
(パン製造卸売)
尾張第一分区

半田 名古屋守山
東 浦 名古屋中
名古屋 名古屋西
名古屋東 名古屋東南
名古屋北 名古屋和合
名古屋南 東海
名古屋港 常滑



田中 楠雄

戸倉上山田 R. C.
建築用金物配布

北信分区

軽井沢 中野
小諸 戸倉上山田
丸子 上田
長野
長野東



篠田 功

稲沢 R. C.
病院
尾張第二分区

あま 春日井
尾西 小牧
一宮 江南
一宮北 瀬戸
稲沢 津島
犬山 尾張旭



林 太郎

岡谷 R. C.
壁紙製造

南信第一分区

松本 大町
松本 南 諏訪
松本 西南 富士見
木曾
岡谷



中尾 十郎

豊川 R. C.
シニアアクティブ
(アルミ加工品製造)
三河第一分区

渥美 豊橋北
蒲郡 豊橋南
新城 豊川
田原 奥三河
豊橋



中島 賢二郎

飯田南 R. C.
シニアアクティブ
(耳鼻咽喉科医)
南信第二分区

飯田 飯島
飯田南 松川
駒ヶ根
伊那
辰野



植松 唯四郎

碧南 R. C.
シニアアクティブ
(会計士)
三河第二分区

安城 岡崎
碧南 岡崎東
一色 岡崎南
刈谷 豊田
高浜 豊田西
西尾

分区代理は

クラブとガバナー間の連絡員としてガバナーを援助する非公式な代理で、何等の権限もありませんが、クラブ訪問時にはよろしく御配慮の上お迎えして下さい幸いです。

尚、分区代理が各クラブの様子を知る為に各クラブの週報及び月報が是非必要と思いますので、発行の都度、所属の分区代理に一部ずつ御送付して頂く様にお願いします。

事務総長書翰の抜すい(7月3日付)

1. 親愛なるロータリアン各位

先日、あるテレビのインタビュー番組で、有名な福音伝道者ビリー・グラハム師に対し「各地でお会いになる多くの人達が、最もひんぱんに訴える悩みは何でしょうか」という質問が出ました。

「孤独です。若い人達も老人も同じ問題に悩んでおります」と、グラハム博士は答えられました。

グラハム師の答は「孤独に悩む若者や老人の要望するものを見極めて、それを充たす」ことを要請しておられる。ビル・カーター会長のメッセージ『今こそ行動のとき』を読み返して一層意義深く感じたのでした。会長のメッセージの一文節に世界各国を巡教し、多くの人々の思考、生活問題に触れている伝道者が人間社会の最も大きな悩みとする問題、そのものが取り上げられているということは非常に意義深いことであります。新ロータリー年度の初頭に当り、カーター会長のメッセージを今一度読み直してみて下さい。その欺くように字数の少ないメッセージの中で会長は多くのことを言及し、多くのことを要請しておられるのであります。

クラブ会員として、社会人として、職業人として、又国際関係の分野にてその質の向上をはかるのに何らの貢献もなし得ないロータリアンが居るでしょうか。全ロータリアンがそれぞれこの努力に協調し貢献できることは明らかなことであります。国際ロータリーの役員として我々の最も重要なつとめは、このカーター会長のメッセージをその意義と具体的な活動の両面より、各クラブのリーダーならびに全会員に伝え行動に移すことであります。

今こそその行動のときなのです。

2. ノーフォーク島がロータリー

の世界に加わる

オーストラリア、シドニーの北東、南太平洋上のノーフォーク島(面積34平方キロメートル、人口1,600)がロータリークラブの存在する150番目の国又は地理的地域になりました。

ノーフォーク・アイランド・ロータリークラブは24名の会員を有し、第292地区に属します。

3. 9月9日→15日は世界理解週間です

4. 財団管理委員長に

ジェームス・コンウェイ氏

ロータリー財団管理委員会はこのほど、ジェームス・F・コンウェイ氏を1973～74年度の委員長に指名いたしました。コンウェイ委員長は1969～70年度の国際ロータリー会長をつとめられた方であります。

その他の管理委員中、日本から東ヶ崎潔氏(元R.I.会長) 向笠広次氏(D. 373 P.G.)が入っておられます。

5. 7月1日付の半期報告の提出

このたびの半期報告は、7月1日現在のクラブ会員数を証明するものです。そのために各クラブ会員およびクラブ幹事が署名し、その正本はクラブ幹事より国際ロータリーの事務総長宛に提出することになっております。

6. 例会プログラムに役立つ

三種のスライドセット

各クラブにおける会員増強、ロータリー情報広報活動の各分野にて参考になる三種のスライドセットができあがりました。これらのスライドセットには日本語版があり、それぞれスライド、台本、討論指針、録音テープ(カセット)を含むキットで、中央事務局より入手できるものです。



『最も重要な人物』 スライド160枚

このセットは、新会員にロータリーが何で、何をやる組織かを説明するものです。

(古参会員のためにもなります) クラブ奉仕、社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕の各部門の目的を説明する四部になっています。

全クラブがロータリー情報プログラムの資

〔次頁へつづく〕

〔前頁よりつづき〕

料として購入することを奨励して下さい。

(1組に付16ドル)

◇

『相違が生じる』 スライド58枚

貴地域社会の人々はロータリーが何かを知っていますか。このセットは全ロータリアンに有効な広報活動を実践する方法を示すものです。

(1組に付10ドル)

◇

『それはあなたに始まる』スライド78枚

会員は皆、ロータリーの親睦、奉仕活動、会員増強が相關関係にあることを知っています。このセットは、クラブの会員数のみでなく実質的にも増強をはかるプログラム資料です。

(1組に付11ドル)

7. 国際ロータリー写真コンテスト

世界各地でロータリークラブが各種の意義ある奉仕活動や事業を行ない、それらの実景がカメラにおさめられています。国際ロータリーでは、その意義ある奉仕活動を奨励し、表彰する意図をもって『国際ロータリー写真コンテスト』を行なうことになりました。一口100ドルの賞金が入賞作品を提出した50のロータリークラブへ授与されます。コンテストは1973年7月1日に始まり、1974年4月15日までとなっています。活躍するロータリーの写真は、ロータリアンやその家族が或いは地域の人々と共に、ロータリーの四大奉仕部門における諸活動、又はロータリー財団の諸活動に加わり活躍しているところを撮ったものとなります。参加作品は一枚の写真又は同じ活動を写した5枚以内のシリーズもののどちらでも、すべてロータリークラブを通して提出されなければなりません。黒白又はカラーの写真又はスライドのどちらでも良いことになっています。但し、参加作品には公式参加書式又はその写が添付されていなければなりません。このテストの詳細は国際ロータリーニュースの7月号と一緒に全クラブへ送付いたしました。

8. 1973→74年度公式名簿の送付

1973～74年度公式名簿は今月全地区ガバナー

並びに各クラブ幹事宛に発送されます。公式名簿には地区別ロータリークラブ一覧表、各クラブの創立年度、例会日時と例会場、会長及び幹事の氏名と住所、会員数などが示され、各地区毎に現任並びに元地区ガバナー名又国際ロータリー中央役員、各委員会、諮問グループの委員名が記載されています。

また旅行されるロータリアンの便宜に、世界各国のホテル(旅館、モテルを含む)の一覧表があり、ロータリー、インターアクト、ロータリーアクトの徽章入り商品の製造、販売が認可されている商社のリストも付いています。旅行を計画しておられる地区内ロータリアンには、例会欠席をマークアップする計画ができるように各自用の名簿を購入することを奨励して下さい。

一部に付1ドル50セントです。

9. 吟味、引用に値する言葉

スイスのローザンヌにおける国際大会で、出席された全ロータリアンに共感をおこさせた特別講演者は、英国ロンドンに本部を置く、万国救世軍の参謀長アーノルド・ブラウン中将でした。

その聴衆を感動させたブラウン中将の講演のなかでも、特に次の一節はロータリアン各位が繰返し引用し吟味される箇所ではないかと思います。『世界平和は私達が平和を知らない一人の人に平和な心をうえつけることに成功したときに始まる。ロータリアンは、その費用の嵩にこだわらず、人々の生活の中に平和をやどすことができるのである。各ロータリアンは、皆それぞれの国において住民の生活に大きな影響を及ぼす立場にある人である』

『ロータリアンは、著者であっても、芸術家であっても、ジャーナリストであっても、政治家であっても、工場で働く人であっても、商いを営む人であっても、皆その人がその人格を維持する程度において、ロータリーが平和を推進する一団であることを保証できる。各自独特な立場を有しそれをなし得る人なのである』

10. 世界のロータリー

1973年6月26日現在、150の国及び地理的地域に、15,708のロータリークラブと74万人のロータリアンを有します。1972年7月1日以降国際ロータリーに加盟した新クラブは50ヶ国より363クラブであります。

国際ロータリー理事会の決定事項抄録

1. 国際用語について

理事会は1956年1月の理事会において記録された決議、即ち理事会は国際理解の増進をはかるのに用語の有する重要性を十分に認めるものではあるが、国際ロータリーは、国際用語についての研究を行なう立場にはないことを決議していることを繰り返して指摘し再確認いたしました。更にどの国語を国際用語として啓発させるかについて世界各国における意見が相違する事実を照らし、理事会は如何なる国際用語開発プログラムをも促進する立場にないことを明らかにしました。

2. 標準クラブ定款より第10条を削除することについて

理事会は原則として、標準クラブ定款より第10条（公式出版物）を削除するため、クラブより提出される定款修正の申請を承認することには賛成できない旨を記述した決議を記録し、従って個々のクラブの申請理由が理事会によって妥当性を認められるもののみを除き、このような定款修正の申請に対し承認を与えることはできないことを決議いたしました。

3. ローターアクト・クラブ会員資格の最低年齢の変更案

理事会はローターアクト・クラブ会員資格の最低年齢を17才に下げる提案には賛成しないことを明らかにしました。

4. ロータリー財団の基本金よりの支出額

理事会はロータリー財団管理委員会での決議に同意し、1974～75年度及び1975～76年度における財団基本金よりの支出額が予定額を上回ることが予想されるため、でき得る限り早急に1974～75年度及び1975～76年度における財団基本金よりの支出額を定めた大会決議72～73を国際大会にて修正を必要とする非常事態が存在することを認めました。それにより非常事態立法手続に関する国際ロータリー細則第6条第2節（イ）の規定のもとに理事会は、大会決議72～73を修正し、財団の目的増進をはかるための財団基本金からの支出額を1974～75年度分は、\$ 4,000,000 から \$ 4,500,000 に、1975～76年度分は \$ 4,250,000 から \$ 5,000,000 に増額する修正決議案を1973年国際大会での審議に付すために同大会へ提出いたしました。

理事会提案の決議案は1973年大会に提出され採択されました。よって大会決議72～73は前述の通りに修正されたのであります。

5. 1973→74年度副会長の選挙

理事会はジョージ・ユーリッグ会員（米国）を1973～74年度国際ロータリー第一副会長に選挙し、G・アントニオ・ベンゾー会員（イタリア）を第二副会長に、ウォルター・コック会員（ブラジル）を第三副会長にそれぞれ選挙いたしました。

6. 事務総長の選挙

理事会は米国イリノイ州エバンストン・ロータリークラブのハリーA・スチュワート会員を1974年1月1日より向う5年間の任期をもつ国際ロータリーの事務総長に満場一致のもとに選挙いたしました。

7. 1973→74年度国際ロータリー委員会の委員の任命と任務の画定

理事会は会長による1973～74年度の国際ロータリーの常任及び特別委員会委員任命の発表を受け特別委員会（アド・ホック委員会を含む）の任務の画定を行ないました。

8. 理事会執行委員会の任命と任務の画定

理事会は1973年7月1日より1974年6月30日までを任期とする理事会の執行委員会を設置しその任務の画定を行ないました。同委員会の構成は次の通りです。委員長：ジョージ・ユーリッグ、委員：ウィリアムC・カーター、ウォルター・コック、ウィリアムR・ロビンス及びG・アントニオ・ベンゾー。

9. 仮クラブより提出される国際ロータリーへの加盟申請書類

理事会は仮ロータリークラブより提出される国際ロータリーへの加盟申請書類につき、中央事務局により新クラブ結成に関する既定の方針又は手続に即しておらないと見なされる箇所がある場合、可能な限り地区ガバナーが直接その仮クラブに赴き、その加盟申請書類中の反則或いは不備な点を訂正補正することを要請することを決議いたしました。

[次頁へつづく]

〔前頁よりつづき〕

10. ロータリー財団管理委員の任命

理事会は会長によるロイド・ヒックマン氏を1973年7月1日より1979年6月30日までの6年の任期、アドルフE・アウトレー、エリックJ・ガスケル、向笠広次の三氏を1973年7月1日より1975年6月30日までの2年の任期でロータリー財団管理委員に任命を承認し批准いたしました。

11. 1975→76年度国際ロータリー会長指名委員会

理事会は1975～76年度国際ロータリー会長指名委員会は、1974年1月17日、米国イリノイ州エバンストンに於て開会することを定め、本指名委員会に対し各クラブより候補者名を提出の折、使用する公式書式を規定いたしました。

12. 国際ロータリーの元・現任及び次期役員のロータリー研究会

理事会は何処においても、国際ロータリーの元、現任及び次期役員のロータリー研究会は、研究会に出席する召集者の出席費以外の費用を国際ロータリーに負担させることなく、財政的に自立自給を原則として開催されるべきことを決議いたしました。

13. 1974年国際協議会の期日と場所

理事会は1974年国際協議会の期日を1974年5月27日より6月4日までと決め、そして協議会に十分な設備を整えることを条件として米国ニューヨーク州のレーク・プラシッド・クラブハウスで開催することを決めました。

14. 1979年国際大会の開催地

理事会は1979年国際ロータリー大会を、グレートブリテン及びアイルランド地域又は欧州大陸北アフリカ、東地中海地域において開催することに賛意を表明し、これらの地域内クラブより1979年国際大会招致の招待申込を歓迎する旨発表いたしました。

15. ロータリー財団補助金受領者着用の上着の記章

理事会はロータリー財団補助金受領者が着用する上着の記章に関連し、ロータリーの徽章を使用することを許可しないことを決めました。

慶祝 稲沢 R C 10 周年

稲沢 R C は昭和38年に創立し本年で10周年を迎えられ、心よりお祝い申し上げます。

記念式典は7月11日、ホテル名古屋キャッスルに於て盛大に催されました。なお、記念事業が次の通り行なわれました。

1. ロータリー財団へ奨学金（20万円）を寄贈
2. 米山記念奨学会へ奨学金（10万円）を寄贈
3. 10周年記念誌刊行
4. 尾張大國霊神社参道桜並木寄贈

G・S・Eグループからのお礼状

7月6日付で次の通りお便りをいただきました。（翻訳）

第360地区のロータリアン各位

ロータリアンの方々の充分すぎる程のご親切さに、なんとお礼を申し上げてよいのやら、又私共G・S・Eの研修をこんなにも有意義なそして楽しいものにして下さるためにお骨折りをいただいた方々一人一人に本当にお礼を申し上げようもございません。

ロータリーの友愛と親睦の手を私共に差しのべて下さいました皆様方に、深い恩義を感じております。

私共はG・S・Eが皆様にとってきっとと有意義であったであろうと思っております。と申しますのは、私共がこんなにも多くのことを得ることができ、そのお返しを何にもしなかったというのは公平でないという理由からです。

私共はいつでも皆様を歓迎する用意がございます。そのことはご存知のことと確信しておりますし、私共の地区の近くにおいてになるという計画をおたてになった時はいつでも、私共の所へおいでいただける事と期待しております。

最後に温いご歓待に、もう一度お礼を申し上げます。

G・S・E チーム・リーダー

Bill Stuart, Jr.
Jim Greene
Sonny Sharrett
Kent Shephard
Ulay Thompson
Tom Willard

例会場並びに事務所移転

松本西南R.C. (7月3日より)

新事務所 塩尻市大字広丘原新田 17

レストラン 西 武

TEL 02635 (2) 3228

新例会場 レストラン 西 武

「ロータリーの友」について

「ロータリーの友」は地区ガバナーの機関誌として、昭和28年1月に、広い意味でのロータリー・インフォメーションの普及をその目的として発足しました。

「ロータリーの友」はロータリーの友委員会によって運営されています。この委員会の委員長は地区ガバナーの合議で決定し委嘱したバストガバナーがその任に当り、委員長は地区ガバナーに対して「友」運営の一切について責任を負っています。

創刊当初は発行部数3,300部であったが20年後の今日（7月号）では6,480部におよび通巻247号を数えております。

1. ロータリーの友委員会の構成

地区委員会は、大体隔月に集って「友」運営の大綱を審議し、専門委員は毎月集っております。

1973～74年度、ロータリーの友委員会メンバーは次の通り

顧問	5名の直前ガバナー
元委員長	松方三郎・湯浅恭三 田 誠・柳瀬省吾
委員長	神守源一郎
副委員長	安野 譲次
地区委員	河合 利周（360区）外19名
専門委員	原 清（大阪北） 安積 得也（東京南） 中田 有保（熱 海）

2. 「友」の編集方針

日本の20地区ロータリーのための地域雑誌として、国内のロータリークラブ及び会員の活動状況を紹介し、親睦をはかり、また内外における各種ロータリー情報を掲載してロータリー精神の普及をはかり、ロータリー活動の発展に寄与することを、その目的としております。

3. 「友」の内容

「ロータリーの友」は、依頼原稿、会員からの投稿、ロータリアン誌よりの翻訳、直接取材などにより作られています。昭和47年1月から従来の型式を一変シタテ組とヨコ組を画然と分け、タテ組を従来の末尾から載せ、表紙も両面にあるという、画期的な体裁となりました。

ヨコ組の巻頭記事は「ロータリー行事」にそくした解説記事・対談・座談会を中心とし、つづくアンケートと共に「ロータリー情報」が目

的であります。

4. 「友」の単価

1冊売上原価 156円85銭

1冊当広告料 35円20銭

差 引 121円65銭

で定価一部110円では11円65銭の赤字となっています。現在の110円は昭和38年1月号から据置きであります。

ロータリー資料室について

ロータリーの日本50年を記念し、一昨年11月に日本連絡委員会の下部組織としてロータリー資料室が開設せられましたことは、ご存じの通りであります。これまでに、多数の会員とクラブからロータリー関係資料の他、多数のバナー写真、記念品等おくられておりますが、まだ不十分のようですから、クラブ会員の方々に死蔵されている関係物件がありましたら、ぜひ資料室へ寄贈又は保管をなさるとよいと思います。上京の節は、お暇をみてお気軽に資料室へお立寄り下さい。

場 所 国電有楽町駅前

住 所 東京都千代田区有楽町1-5

有楽町ビル10階1017号室 〒100

電 話 03(214)-4068

ロータリー日本五十年史のおすすめ

まだ2,000部位残っております。新入会員の方は勿論、前回購入しなかった方もこの際は是非お求めになられるようおすすめします。

定 価 一部 2,000円

申 込 先 ロータリー資料室

世界社会奉仕計画について

1. 気象の異状変化により世界のいたる所で災害がもたらされていることは、既にご承知の通りであります。特に西アフリカにおいては干ばつによる家畜の餓死が大量に続出しております。これらに対して緊急な救援の手を差しのべようではありませんか。
2. 世界社会奉仕の計画に当りR.I.のライブラリーをご参照になることをおすすめします。
3. 国際奉仕委員会の仕事の原則は、会員の個人的関係が主であります。9月に行なわれる世界理解週間には、委員会ではこの個人的関係を主体として取り上げていただきたいと思います。

6 月出席率

(48 年 7 月 10 日調)

順位	クラブ名	会員数	出席率	例会数	前月順位	前月会数	増減
1	松本	75	100	4	1	78	-3
1	1 豊	72	100	4	1	73	-1
1	1 碧	62	100	5	17	62	
1	1 伊	58	100	4	1	58	
1	1 飯	56	100	5	1	56	
1	1 駒	56	100	4	1	57	-1
1	1 名	51	100	4	1	51	
1	1 古	43	100	4	1	43	
1	1 一	40	100	4	1	40	
1	1 辰	39	100	4	1	39	
1	1 輕	32	100	4	1	32	
1	1 岡	26	100	4	21	26	
1	1 富	24	100	4			24
14	14 豊	86	99.70	4	1	86	
15	15 豊	94	99.39	4	1	94	
16	16 古	89	99.33	5	20	89	
17	17 一	65	99.28	5	23	65	
18	18 名	68	99.27	4	16	68	
19	19 古	76	99.00	4	19	77	-1
20	20 豊	47	98.95	4	41	49	-2
21	21 安	53	98.94	4	1	53	
22	22 大	60	98.75	4	18	59	1
23	23 犬	64	98.40	4	24	62	2
23	23 小	50	98.40	5	42	49	1
25	25 飯	65	98.39	4	24	65	
26	26 岡	43	98.19	4	46	43	
27	27 古	81	98.05	5	22	82	-1
28	28 名	47	98.87	4	26	46	1
29	29 江	44	98.78	4	27	45	-1
30	30 小	44	97.73	4	34	44	
31	31 尾	35	97.71	5	1	35	
32	32 一	77	97.62	5	48	81	-4
33	33 春	72	97.53	5	29	73	-1
33	33 松	71	97.53	4	32	72	-1
35	35 名	67	97.30	5	30	67	
36	36 飯	28	97.29	4	35	28	
37	37 津	65	97.14	5	37	65	
37	37 田	49	97.14	5	44	49	
39	39 名	69	97.10	4	31	70	-1
40	40 古	60	97.09	4	40	62	-2
41	41 豊	52	96.71	4	28	53	-1
42	42 浦	64	96.66	5	1	64	
43	43 古	105	96.60	4	49	105	
44	44 名	43	96.51	4	43	43	
45	45 岡	56	96.43	5	51	58	-2
46	46 奥	32	96.34	5	52	33	-1
平均出席率			96.19 %				
47	47 名	127	96.08	4	36	130	-3
48	48 あ	55	95.98	4	33	56	-1
49	49 常	49	95.50	5	45	49	
50	50 諏	52	95.40	4	54	53	-1
50	50 高	51	95.40	4	47	48	3
52	52 上	53	95.38	4	61	53	
53	53 岡	72	94.92	4	53	72	
54	54 長	65	94.00	4	50	65	
55	55 松	32	93.75	4	38	32	
56	56 渥	34	93.36	4	63	34	
57	57 瀨	58	92.42	4	39	58	
58	58 名	212	92.30	4	55	213	-1
58	58 戸	28	92.30	5	67	28	
60	60 松	28	91.97	4	56	29	-1
61	61 最	59	91.33	4	66	60	-1
62	62 大	50	91.02	4	58	49	1
63	63 中	30	90.00	4	57	32	-2
64	64 半	61	89.98	4	62	64	-3
65	65 東	38	89.11	5	65	38	
66	66 丸	32	89.06	4	64	32	
67	67 新	33	87.87	4	59	33	
68	68 木	39	86.54	4	60	39	
69	69 尾	40	73.42	4	68	38	2
会員数合計			3,953名	1名減			

スライドの貸出について

クラブ奉仕委員会の資料として、会員増強に関するスライドと台本がR.I.本部より送付されました。お貸ししますからお申出下さい。

ロータリアンのエチケット

旅先や、列車の中、その他でロータリアンを見かけたときは、たとえ見知らぬ方であろうとこちらからせめて黙礼ぐらいはしたいものです。

国際ロータリーニュースの利用

会長幹事さんは、これによく目を通しておられますが、会報の編集者にもお廻し下さい。週報、月報のニュースソースが得られると思います。

ガバナー月信についてお願い

1. 月信の内容を豊かにするため、各クラブの奉仕活動の近況など投稿を期待いたします。写真を添えて下されば幸いです。
2. 月信は毎月15日付で各クラブ会長並びに幹事宛に2部送付しますが余分に入用のクラブはお申込み下さい。(一部60円)

事務所だより

1. ガバナー事務所は日曜、祭日を除く毎日午前9時から午後5時まで(但し、土曜は午前中)執務しております。
2. 上記時間外緊急の場合は、地区幹事後藤新三TEL 0265 (22) 2570 までご連絡下さい
3. 事務所は飯田駅より徒歩約15分の飯田商工会館の三階にあります。

敬 弔

次の方が御逝去になりました。謹んでお悔み申し上げます。

大岡光三郎君(名古屋) 7月4日
加藤 元資君(名古屋東南) 7月6日
吉沢 茂翁君(飯田) 7月6日
河田 定雄君(犬山) 7月8日

国際ロータリー第360地区ガバナー事務所

原 享 二

飯田市常盤町 飯田商工会館内
電話 (0265) 23-6262 〒395
地区幹事 後藤新三
事務員 大磯邦子